

日本一の給食を日本遺産丹波焼で(6月7日)

今田小学校6年生が、「丹波焼に学ぶふるさと学習」の一環として、丹波立杭陶磁器協同組合と丹波伝統工芸公園 立杭陶の郷の協力のもと、丹波焼で給食を食べました。丹波焼は日本六古窯の一つであり、平成29年には日本遺産に選ばれました。50軒の窯元によって成り立つ組合から計51の丹波焼を借り、その中から児童は事前に3つお気に入りの丹波焼を選び、この日を楽しみにしていました。丹波焼を楽しむために食べ物を少しずつ器に入れ、味だけでなく目でも楽しめる給食の時間となりました。丹波焼にのった食べ物を見た児童は「色合いがよくておいしそう!」とうれしそうに話し、また「いつもの器より持ちやすい」という声もあり、丹波焼の素晴らしさを実感できた時間となりました。



篠山よさこいまつり2023開催(5月21日)



篠山城跡周辺で行われた「篠山よさこいまつり」。昨年はコロナの影響で規模を縮小した開催でしたが、今年は活気が戻り、田園交響ホール南側の道路を歩行者天国にしたパレード演舞が新たに行われました。まつりには28チームが出場。華麗な舞を披露し、観客を魅了しました。

大内池改修工事竣工式(5月20日)



草ノ上地区の農地14.9haをかんがいする大内池の3カ年の改修工事が完成し、竣工式が開催されました。地域の農業用水の貯水機能、近年ひん発する豪雨などによる洪水に備えた治水機能が整備されています。地域を守る大切な財産として、管理運用をしていただきます。

トライやるウィーク(6月5日~9日)



市内各中学校でトライやるウィークが実施されました。6月5日、コーナンへ取材に行き、篠山中学校から来られた2人の参加者にインタビューをしました。

「なぜ販売業を選んだのですか」という質問に久下さんは「販売業は身近にあり、どのような仕事をしているのか気になったからです」、宮本さんは「販売業に興味がありやってみたかったからです」と答えられました。

このトライやるウィークを通じて久下さんと宮本さんは、「初めての人にもあいさつができるようになりたい、コミュニケーション能力を身につけたい」「さまざまなことに挑戦できるようになりたい」と話してくれました。



大国寺と丹波茶まつり(6月3日)

お茶の生産量県内1位を誇る丹波篠山市。初夏に新茶を楽しむ第41回「大国寺と丹波茶まつり」が味間奥で開催されました。大国寺へお茶を献上する「丹波茶壺道中」では、つぼに入ったお茶の葉をかごに入れて運びます。献花をする人など合わせて約30人が列をなして大国寺まで練り歩きました。また、会場近くには茶畑があり、参加者たちは「茶摘み」や、蒸したお茶の葉を揉む「手揉み」でお茶づくりを体験。ほかにもステージイベントや出店があり、子どもから大人まで多くの人が新茶を通じてまつりを楽しみました。



給食で「篠山まるごと丼」提供(5月10日)



市立学校園で、市の特産物を盛り込んだ「篠山まるごと丼」が給食で提供されました。篠山小学校では、児童たちが丹波篠山産のコシヒカリ、牛肉、山の芋など、地元の食材が詰まった「篠山まるごと丼」をおいしそうにほおばっていました。

フエ伝統工芸フェスティバル(4月28日~30日)



平成30年に市民交流都市締結を行ったベトナム社会主義共和国のフエ市で、フエ最大級の伝統工芸のフェスティバルが開催。丹波篠山市は「丹波焼」の展示とデカンショ踊りを披露し、市の魅力をPRしました。世界各国からも織物、木細工などの展示があり、交流を深めました。

愛南町トライアスロン大会に派遣(5月15日)



愛媛県愛南町で開かれる「第10回愛南町いやしの郷トライアスロン大会」に交流選手として派遣する八尾彰一さん(元五輪日本代表コーチ)が市役所を訪問され、酒井市長から激励を受けました。6月3日に行われた大会では、水泳1.5km、自転車40km、ランニング10kmを走破。3時間1分20秒の総合109位で見事フィニッシュしました。

わたしのとっておきのレシピ集 春夏編(5月15日)



いずみ会が第3弾目となるレシピ集を発刊しました。今回は、会員から募集した「とっておきのレシピ」31点を掲載。どれも手軽に美味しく家庭の味が作れるレシピばかり。詳しくは市ホームページをご覧ください。



市ホームページ

この記事の
原稿と写真を
担当しました

篠山中学校2年
平野夢人さん

特集 FOCUS 情報ピックアップ タウントップピックス HOTトピック 市政リーダー インフォメーション 施設情報・相談 はぐくみ 街かどリポート まちの話題

